

【施設状況】

グループ名称	川中島町公民館、分館（川中島、中津、御厨）								
指定管理者名	川中島地区住民自治協議会					法人番号	3700150073961		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設		川中島町公民館							
		川中島町公民館川中島分館							
		川中島町公民館中津分館							
		川中島町公民館御厨分館							
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	本館：多目的ホール1 和室1 調理室1 事務室1 1 事務室2 1 図書コーナー1 大会議室1 中会議室1 小会議室1 川中島分館：大広間1 日本間1 料理教室1 中津分館：大広間1 日本間1 料理教室1 御厨分館：会議室1 日本間1 大広間1 料理教室1								
施設設置目的	地域住民の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の拠点として、より開かれた身近な地域の中心施設としてまちづくりに貢献することを目的とする。								
基本方針等	社会教育法の規定に基づき、住民のために实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、毛脳の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するという設置理念に基づき管理運営を行う。								
主な実施事業	定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共の利用に供すること。貸館に関すること。								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	川中島地区住民自治協議会				指定回数	1 回		
指定期間	平成29年4月1日	～	令和2年3月31日	3年	管理運営開始日	平成29年4月1日		
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	特記事項なし						3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	川中島町公民館	利用者数	32,702	36,930	34,173	34,625	101%	
	川中島町公民館	利用率	31.0	33.0	33.1	30.8	93%	
	川中島町公民館分館(3館)	利用者数	34,266	29,172	31,562	34,454	109%	
	川中島町公民館分館(3館)	利用率	22.0	21.0	18.6	18.0	97%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由	3
	市指定事業		<ul style="list-style-type: none"> 長野市と川中島地区住民自治協議会（指定管理者）が相互に協力し、適正かつ円滑に長野市立川中島町ほか3施設（川中島・中津・御厨分館）の管理及び運営に関する業務を行う。 指定管理者の能力を活用しつつ、地域住民等に対するサービスの効果及び効率を向上させ地域福祉の一層の増進を図る。 本施設の管理業務の実施にあたって求められる公共性を十分理解し、その趣旨を尊重する。 	
自主事業				

サービス維持・向上の取組み（広報等）	<ul style="list-style-type: none"> 年3回発行する館報「かわなかじま」No.295～No.297を全戸に配布した。公民館の様子や活動内容チラシを作成し周知した。また、川中島町公民館ホームページを立ち上げて情報を発信した。館内には掲示物を工夫して講座内容の案内について視覚を通して訪問者に呼びかけた。さらに新企画として、新成人をお祝いする成人式では川中島地区のプロモーションビデオを制作し新成人に画像でメッセージを送った。
--------------------	--

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 <ul style="list-style-type: none"> 講座参加者には、利用者アンケートを受講後に配布して講座内容等参加者の声を聞いている。講座アンケートの調査項目は、満足 やや満足 やや不満 不満の4段階に分け調査を実施している。未記入は不明としてカウントしている。 公民館の貸館事業については、利用簿の備考欄に気づいた点や要望等を記載する欄を設け意見等を聞いている。 公民館利用者団体説明会の場でも利用者の声を聞いている。 分館については、分館の貸館使用簿に要望記載欄を設けて利用者の声を聞いている。分館長にも直接要望がある。 </p> <p>(3) 調査、会議等の結果 <ul style="list-style-type: none"> 講座に関するアンケートの回収率は70%。講座への意見として川中島地区をもっとよく知りたいという声が多くあり、特に川中島の歴史や地形（水路や温泉）に関する内容が多い。 公民館を利用する際、駐車場が狭いため、車を駐車する際は苦労する。という声は相変わらずある。 中津分館の休日の鍵の受け渡しが不便。川中島分館の利用者からは、階段が急なため手すり設置の要望あり。御厨分館の利用者からは、階段のタイルの修繕要望あり。 </p>	
利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> 講座の内容については、満足、まあ満足が90～95パーセントを超えて評価が高かった。元気がでる麻雀講座（満足70.6%、やや満足29.4%）、ママのスキルアップ講座（満足100%）、親子（親子で工作）講座（満足94.4%、やや満足5.6%）。特に元気が出る麻雀講座は定員が24名、募集定員がすぐに埋まってしまう人気であった。麻雀講座は、講座終了後サークルが発足し、活動が継続している。 親子で楽しめる講座（赤ちゃんのタッチケア等）を多く開設したことで子育て中のお母さんのメンタルケアにもつながった。こうした講座を継続してほしいとの声が多い。 川中島分館の手すり設置、御厨分館の階段タイル修繕は、すぐに対応したところ、利用者からの評判が良い。 </p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 ①公民館利用者（本館・分館）団体説明会について、2回は必要なのか。 ②分館（中津公民館）の休日のカギの受け渡しについて、JAの営業時間以外に返却する方法を検討してほしい。（JA農協の連携を含めて） ③公民館での作品展の展示は、特定のサークル等が展示しているような気がするがルールはあるのか。 ④駐車場が狭い。</p> <p>《対応措置》 ①公民館及び分館利用者団体説明会を年2回→1回とした。利用説明に終始するのではなく要望・改善の声を聴く時間を増やし運営の反映した。サークルの利用団体など230名の参加者があった。 ②分館（中津公民館）の休日のカギの受け渡しは、返却箱を設置した。利用者から評判がよい。 ③公民館のギャラリースペースを作品展示場と位置づけ、作品（最大1月）を展示している。作品の搬入は出品者の責任対応。発表の場ができたことで、学びの意欲が増し、サークルの利用頻度は高い。 ④駐車場については、利用者が多い講演会等では、車の相乗り、徒歩、自転車等による来館を依頼しているため、苦情は少なくなった。</p>		

4 事業収支

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料	48,340	使用料	48,150	3
	指定管理料	17,326,000	指定管理料	17,326,000	雑（納付金）	9,170	雑（納付金）	11,360	
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料	20,833	貸付料		
	その他収入	4,033,157	その他収入	2,996,493	その他		その他	12,152	
	計	21,359,157	計	20,322,493	計	78,343	計	71,662	
支出	人件費	9,896,127	人件費	9,759,572	指定管理料	17,326,000	指定管理料	17,326,000	
	設備管理費	1,574,000	設備管理費	1,373,968	委託料		委託料	5,011,200	
	備品購入費	0	備品購入費	250,200	需用費	121,525	需用費		
	修繕費	0	修繕費	61,020	役務費		役務費	5,946	
	光熱水費	4,108,000	光熱水費	4,085,944	使用料・賃借料		使用料・賃借料	14,338	
	事業費	3,337,000	事業費	2,768,429	修繕費		修繕費		
	事務経費	2,363,030	事務経費	2,016,464	工事請負費	396,360	工事請負費	1,207,440	
	本社経費		本社経費		備品購入費	31,525	備品購入費	62,856	
	その他	81,000	その他	71,000	その他		その他		
		計	21,359,157	計	20,386,597	計	17,875,410	計	23,627,780
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-64,104	差引	-17,797,067		-23,556,118	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								47.9%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>地域、市内業者から積極的な物品の購入に努める。地域の障害者施設には大きなイベントごとにパンや菓子類を販売することで利用の促進に努める。また、地区内の学校法人四徳学園長野保健医療大学と住自協が協定を結び学生と地域、受講生との交流を更に深める取り組みを推進する。看護学生による健康づくり実習への協力をしていく。(継続実施)</p> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<p>地域、市内業者から積極的な物品の購入に努める。地域の障害者施設には大きなイベントごとにパンや菓子類を販売することで利用の促進に努める。また、地区内の学校法人四徳学園長野保健医療大学と住自協が協定を結び学生と地域、受講生との交流を更に深める取り組みを推進する。看護学生による健康づくり実習への協力をしていく。(継続実施)</p>
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<p>地域、市内業者から積極的な物品の購入に努める。地域の障害者施設には大きなイベントごとにパンや菓子類を販売することで利用の促進に努める。また、地区内の学校法人四徳学園長野保健医療大学と住自協が協定を結び学生と地域、受講生との交流を更に深める取り組みを推進する。看護学生による健康づくり実習への協力をしていく。(継続実施)</p>				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>館内には、サークル活動の発表の場として展示コーナーを設け、利用者の作品展を計画するなど工夫を凝らしている。また植木・生垣の剪定や芝刈り等の環境整備には特に力を入れており、職員全員が努力している状況が利用者からも好評を得ていることから利用者評価を「4」とした。</p>
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>次年度においても引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。</p>
---------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

○利用者・受講者のサービス向上に向けた取組みは優先事項として検討していきたい。公民館利用の基本的なスタンスは社会教育法20条の理念を踏まえて川中島町の住民の意向を受けて活動している。公民館の利用者は年間6万9千人を超え、様々なサークル団体や成人学校受講生が目的に合わせて活動している現状を考慮して高齢化社会のための心身共に健康な環境を設定し提供していくことがこれからの公民館活動としての取組みと考える。公民館スタッフの笑顔と情報の共有を常に図り日々、粛々と運営に当たることを大切にす。また、館内外の環境整備には特に気を使い、植木・生垣の剪定や芝刈りなど職員の努力により環境の整備を図っている。

○利用者や地域からの要望、意見は、真摯に受け止め経費の中で改善できる修繕等については早急に対応してきた。(分館の階段手すり補充や分館トイレ改修工事等)

○本館料理室の稼働率が11パーセントと低いため地域講師をお願いしたり食育改善センターとの協力で食育や郷土食(おやき、干し柿等)の講座を設けたりしていく。

○小・中・高・大の学校と地域連携を深める場所として公民館の在り方を考える。

② 業務の効率化に対する取組み

○日常の業務で適正にスリム化できることを常に考えている。現在、地域公民館行事であるスポーツの祭典(ソフトボール、野球、女子バレーボール)や人権教育促進協議会の地域公民館毎の住民の集いの団体事務は、やがて住民自治協議会の組織に組み込み、地域公民館長の協力を得て地域のスポーツの発展と交流及び人権感覚の育成に結び付けたい。

③ その他

○住自協と公民館では子どもたちとの連携を深めるための取組みとして成人式やイベントには地域の小学校の金管バンドにアトラクションとして出演を依頼している。また、中学校の駅伝チームが全国大会に出場したことでPR活動を住自協と共に支援してきた。地域住民と子どもたちのwin&winが成立するよう働きかけた。子どもたちの活動については住民の期待は大きい。学校職員、保護者、地域の理解と支援がなければ子どもたちの夢の実現は難しいことである。そのため住自協、公民館共に地域の小中学校の子どもたちのために支援を行いつつ、地域住民が子どもたちを支えていく場の提供や活動を支援していく。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

社会教育団体以外の団体事務について、事務内容を見直すなど業務のスリム化を検討していく。

(3) 総合評価

評価基準(計画=事業計画)

【A】計画や目標を大きく上回る

【B】計画や目標を上回る

【C】計画や目標どおり

【D】計画や目標を下回る

【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

○従来の公民館活動を踏襲して計画や目標実現に向けて粛々と取り組んできた。協定、事業計画が今年も予定どおり実施された。指定管理者制度がスタートして活動が緒に就いたところである。今後、その利点を追求していきたい。

② 次年度以降の取組み

○成人式に向けて新成人をお祝いするための川中島地区のプロモーションビデオの制作。

○川中島地域公民館対抗ソフトボール、野球、女子バレーボール大会の開催と運営。また、地域や年代を考慮したスポーツを選択したい。

○川中島町人権教育促進協議会地区単位人権を考える住民のつどいの開催と運営。

○公民館と学校(小・中・高・大)との連携と受講者との交流活動。地域の3小学校、2中学校、1高校、1大学との連携活動や依頼。

○主催講座では受講生の会費制度を廃止し、誰でも無料で参加できるようにする。講座名「大人の寺子屋」「女性教室」から「桃のさと『川中島大学』」と名称をひとつに変更し講座の企画運営をする。また、講師はできるだけ地域の人材に協力依頼をしていきたい。

○地域公民館連絡協議会と人権教育促進協議会の二つの団体事務については住民自治協議会と十分な話し合いをする。(平成30年度包括外部監査より指摘を受けている)